

携帯電話による出席確認および 位置情報取得サービスの検討

1

政策情報学部 4年

0540202

牛濱 優

結果

2

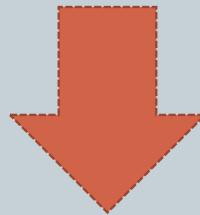
携帯電話による出席確認における

出席情報管理の基本機能が実現できた。

背景・目的

3

大学で授業時に配布される出席カード
に毎回出席情報を書くのは大変
出席確認に時間がかかる⇒授業時間が減る



出席確認を効率化する必要がある

現状と問題点

4

- 現状

出席カードを使って出席を取っている。

氏名					
学科	学年	組	番		
年	月	日	曜	時限	教室
科目	担当者		先生		

千葉商科大学

- 問題点

出席カード

出席カードの人数分の配布に時間がかかる
不正が可能

このことから出席を取る作業を情報化ができないかと考えた

出席を取る作業の情報化

5

出席を情報化するのに
必要な情報は

- 名前
- 学籍番号
- 出席日時
- 授業名
- 先生の名前

- 必要な条件
名前・学籍番号・第3者でも本人と確認できるもの



- 本人確認
本人に帰属し個人の認証として使えるもの

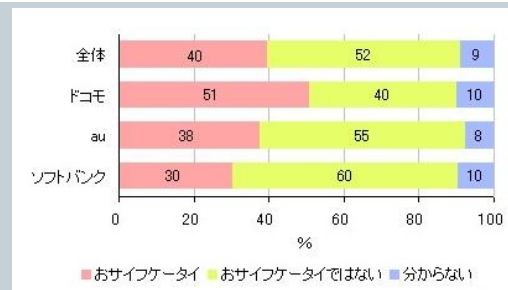


- 携帯電話

携帯電話のFelica機能利用の検討

6

- 近年出ている携帯電話にはが普及している
図は2007年のものですが
全体では3割しかありません。



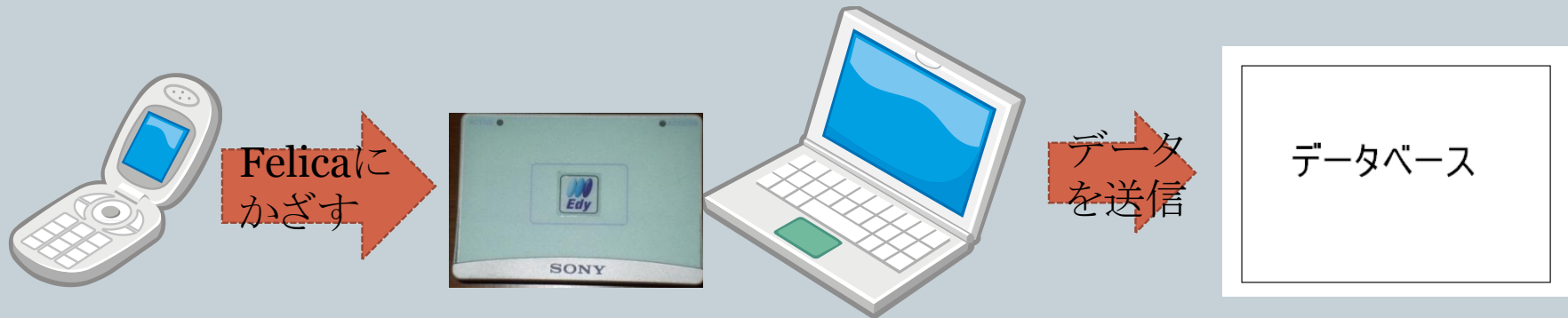
ドコモやソフトバンク、AUでは今度の新機種では
ドコモ17/21
ソフトバンク13/21
AU8/4
} **Felica**対応しています。

- 個人に帰属する
携帯電話は個人で持っているものが多く
他人には貸し出したりしないから

- IDが偽造されにくい
FelicaはIDが偽造や変造がしにくいセキュリティ構造になっているから

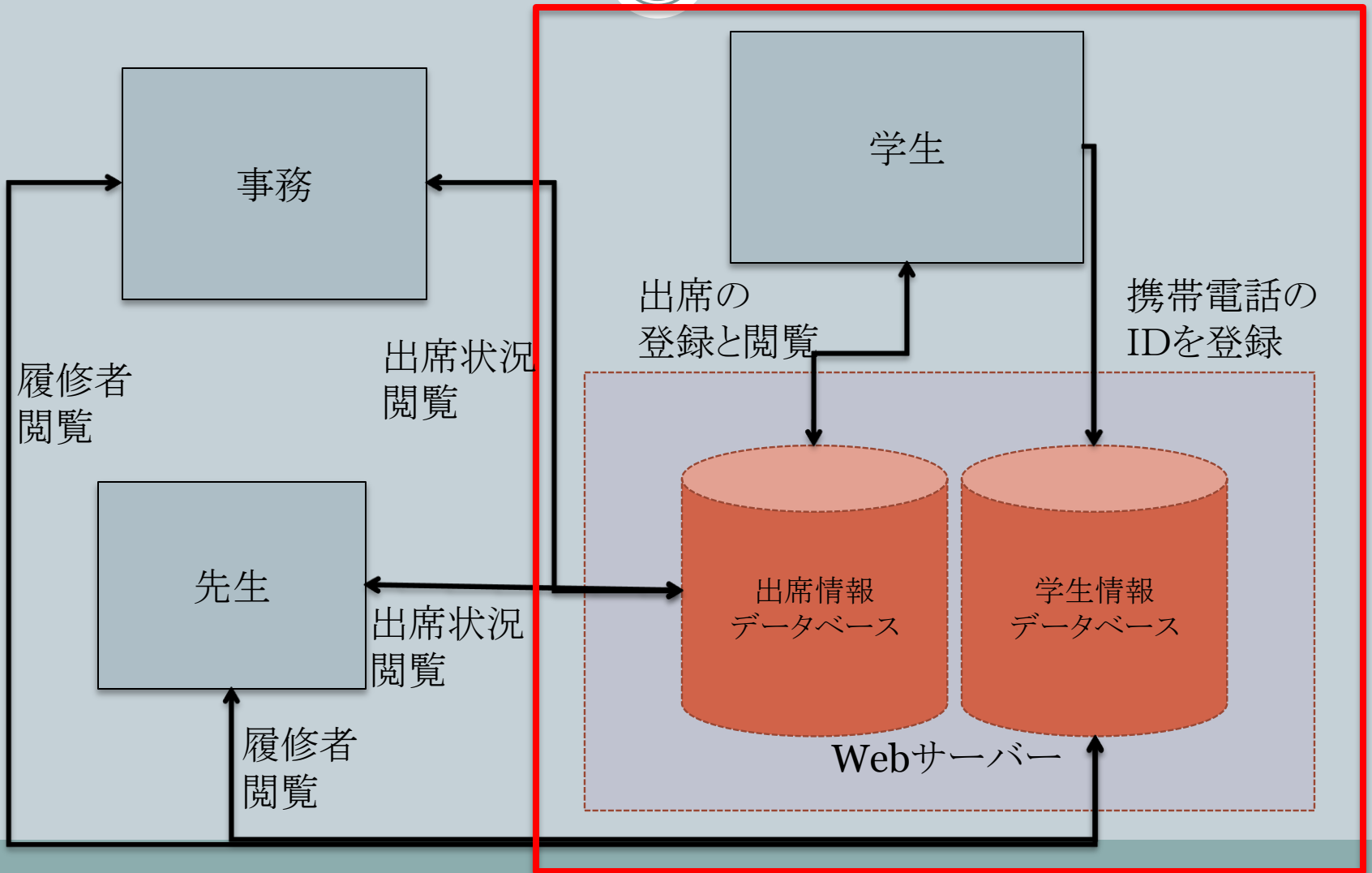
Felicaを利用するイメージ

7



全体のモデル

8



実装環境

9

オペレーティングシステム: **MICROSOFT
WINDOWS XP HOME EDITION VERSION
2002 SERVICE PACK 2**

CPU: **INTEL® CORE(TM)2 DUO E6850
@3.00GHZ**

メモリ: **3GB**

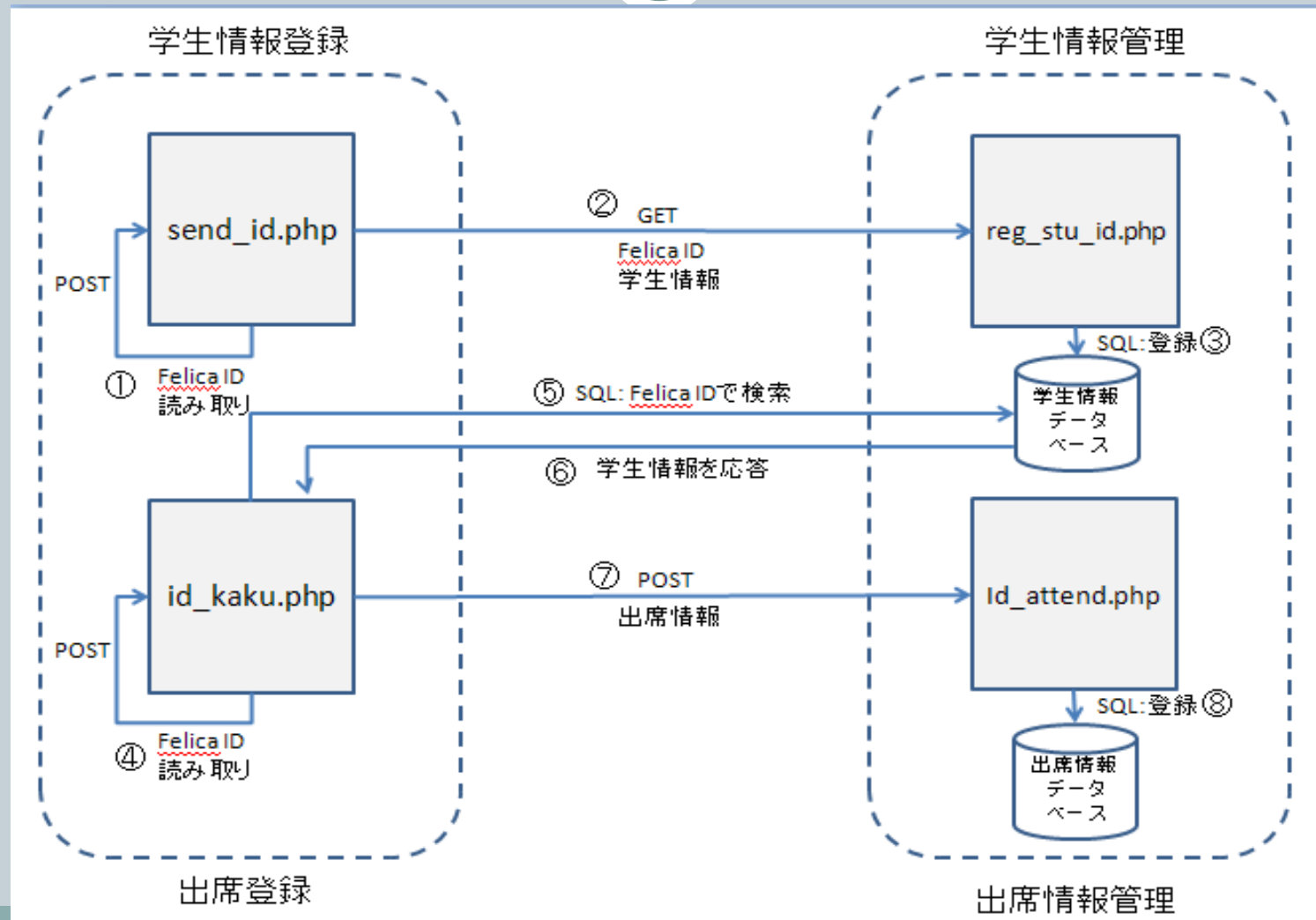
WEBサーバ: **APACHE 2.2.8**

データベース: **MYSQL 5.0.51**

プログラミング言語: **PHP 5.2.4**

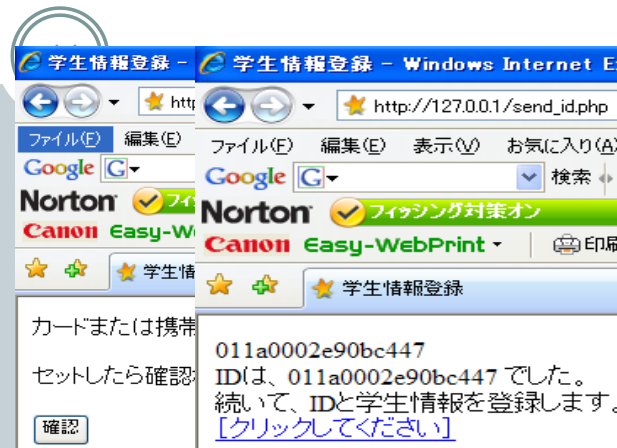
実装システムの構成

10

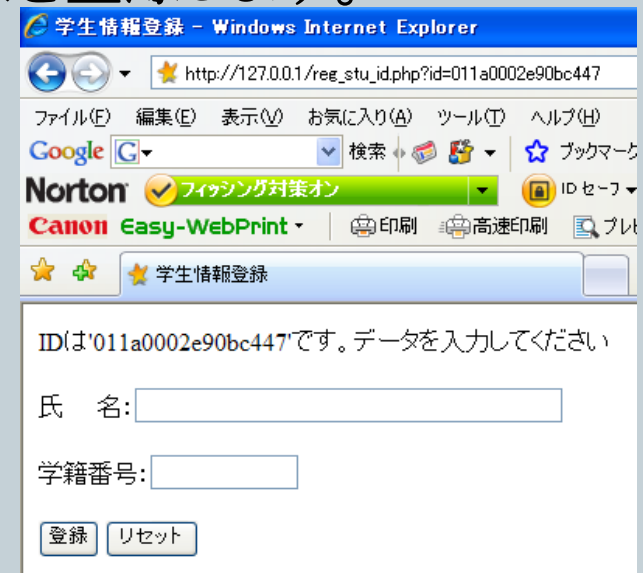


生徒情報の登録

- まず、FelicaIDを取得します。



- 次に表示できたらIDと対応させ学生情報を登録します。

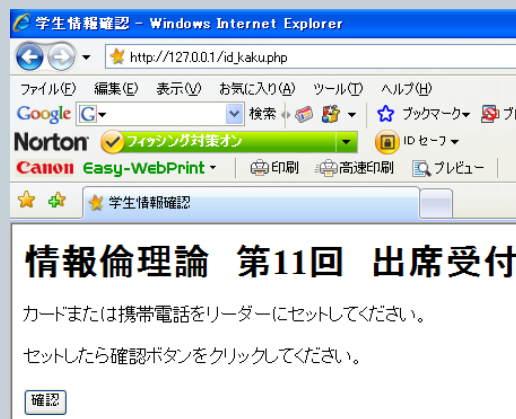


- 最後の画面が出たら登録は完了です。

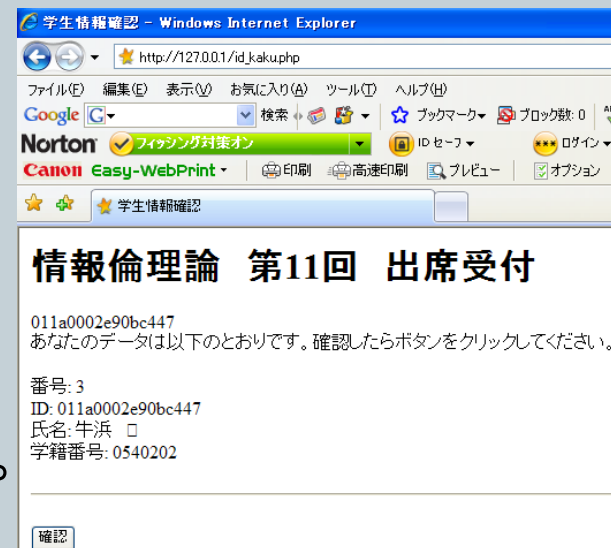
出席状況の登録

12

- まずFelicaIDを取得します。



- 取得できたらIDで学生情報を検索します。



- 表示できたら確認で出席状況が登録できます。

今回実装したものの評価

13

- 機能は良好に動作した。
- 出席登録で履修コードや授業回数が今回では決め打ちである。
- **FelicaID**を取得時に取得できない場合がある。
ここは再度試行することで回避している

成果・今後の課題

14

- 成果

- 生徒情報登録と出席情報の登録を実現

- 今後の課題

- 学生の出席状況確認用プログラムの作成
 - ✦ 学生、先生、事務で利用
- 位置情報管理機能の検討
 - ✦ このシステムを利用することで位置情報の確認が応用可能となるので、その部分を作成

以上で発表を終わります。

御清聴ありがとうございました。

質問等があればお願いします。